

## 事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 2年3月31日

2次評価日（課長等） 2年3月31日

1 事業名	職員福利厚生事務			コード	16513
2 担当部課	部等	総務部	課等	総務課	作成者 増田 亮吾
3 事業概要	目的体系	基本目標	みんなでつくる、確かな未来を拓くまち		
		政策	市政運営の推進	施策	その他
		予算科目	職員福利厚生費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	—		

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	職員の福利厚生の充実に努めるとともに、生活の安定と福祉に向上を図る。		
目的	対象者	職員	
	意図	福利厚生	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
職員の安全衛生管理業務の実施	1 職員安全衛生委員会の開催 2 定期健康診断・人間ドック受診奨励・ストレスチェック 3 メンタルヘルスの取り組み （1）メンタルヘルスアドバイザーへの相談及び連携 （2）メンタルヘルス研修の実施		
前年度の課題への対応	・疾病の早期発見に向けて、30歳以上の正規職員全員の間ドック受診を奨励した。 ・メンタルヘルスアドバイザーの設置やメンタルヘルスに関する情報提供の継続により、職員のメンタルヘルス不調の早期発見と相談しやすい体制づくりに努めた。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）			[単位：円]
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	5,730,200	5,758,353	5,817,513	6,462,000
経常経費	5,730,200	5,758,353	5,817,513	6,462,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
② 人件費	6,400,000	6,400,000	6,400,000	6,400,000
正規職員の人数(人)	0.80	0.80	0.80	0.80
③ 合計コスト(①+②)	12,130,200	12,158,353	12,217,513	12,862,000
前年度比		100.2%	100.5%	105.3%
財源	11,852,900	11,880,953	11,940,613	12,578,000
一般財源				
内訳	277,300	277,400	276,900	284,000
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ コストに関する補足説明				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
職員福利厚生事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	2,623,000	2,586,000	2,735,000	2,729,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	2,623,000	2,586,000	2,735,000	2,729,000
	割合	45.78%	44.91%	47.01%	42.23%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全衛生管理業務の充実</li> <li>・人間ドック等受診率の向上</li> <li>・職員のメンタルヘルス不調や長時間労働者の早期発見と相談しやすい体制づくり</li> </ul>
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全衛生管理業務の再確認を行い、職員が働きやすい環境づくりを推進する。</li> <li>・疾病の早期発見に向け、引き続き、30歳以上の正規職員の人間ドック受診を奨励する。健康講座を開催し、人間ドック受診の重要性を職員に理解してもらう。</li> <li>・産業医やメンタルヘルスアドバイザーによる健康相談・メンタルヘルス相談・研修会の充実を図るとともに、他の相談機関の周知・活用、職場で気づき対処するラインケアの取り組みなどを推進し、職員のメンタルヘルス不調の早期発見と相談しやすい体制づくりに努める。</li> </ul>
改善開始時期	令和2年4月～

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	
----------	--------	---	--